

一方、私にはいい歌手を連れて行くから会ってくれと電話があり、3月頃ホントに東京へ連れてきた。彼女に会いました、話をお聴きはしたけど、その場では将来的にお役に立てる話はないと、お帰り戴いた。

後日、彼女からの電話があった。とても熱心だった。

五泉の生まれ育ちと聞けば、鶴木と同じだ。何か因縁めいたものを感じる、心を動かされるものがあった。チャンスを作ってやりたいと考えた。

それは、私の番組 YouTube「作詩家久仁京介の世界」の中ならば何か作れるかも知れないと彼女には伝えた。お願いしますと彼女の行動は早かった。行動開始した彼女は、指示した様々な注文に応じながら、歌唱のトレーニングはもちろん、歌謡界での在り方、様々な耳からの情報も聞き逃さなかった。功を奏してか、彼女にメキメキと変化が起きた。東京と新潟の距離にはネックはあるものの、ケイタイによるリモートレッスンなども試みた。駆け足ではあったが、鍛え鍛えられて彼女は目ざましい成長を見せ、たった2か月の訓練で、5月にはレコーディングへと駆けつけた。

そうした流れの中で、あの石碑除幕式のあった7月30日に、客席20人のライブが実施されたのです。その後にも40名のライブをこなし、遂には来る11月4日に客席70名のライブを実行しようといい、大きな成長を遂げようとしている、正に快挙ではないかと云えます。

同級生松崎君のヒラメキ、いやスケベどころか、どっちでもいい、その行動力は彼女の復活への道づくりを担おうとしている。

またそうしたタイミングで**なおみあき**が鶴木君と同じ五泉の生まれ育ちとして、どこかでつながる因縁があるのかも知れない。

我々がこの年齢になっても、遊びどころやその気さえあれば、偶然にしろ必然にしろ、やれることはまだまだあるのかも知れないと気持ちを強くしている次第です。